

スペアナCDプレーヤー

目次 4ページ

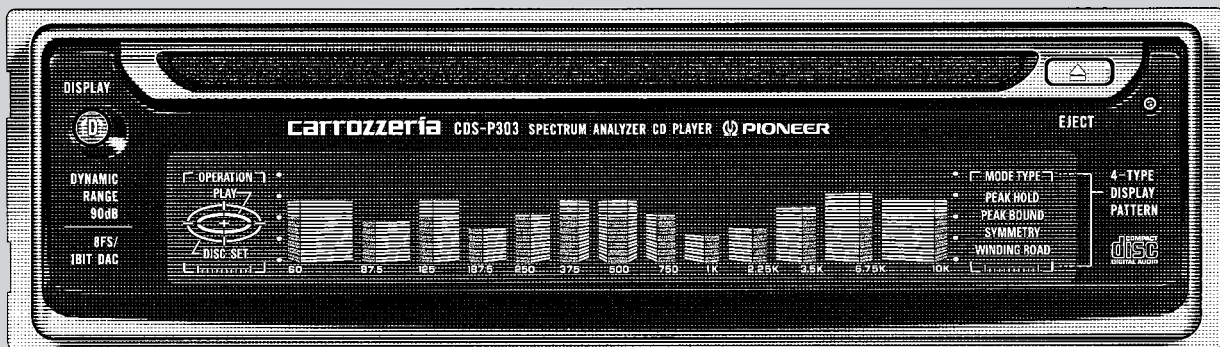
取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。

接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

carrozeria
by PIONEER

CDS-P303



安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[異常時の処置]

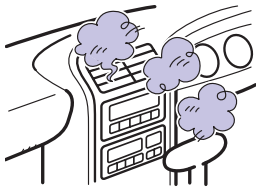
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

本機と組み合わせる	6
メインユニットについて	7
本機の各部のなまえ	7

準備

CDをセットする	8
----------	---

CDを聞く

CDのふだんの操作	10
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
モードの切り換えかた	12
同じ曲を繰り返し聞く	13
いつもと違う曲順で聞く	14
CD再生を一時停止する	15
聞きたい曲をさがす	16
CDのタイトルを記憶させる	18
CDのタイトルを表示させる	20
よく使う機能を学習させる	21

C O N T E N T S

すぐ使えます
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他の機能と付録

本機の表示を切り換える	22
CDの正しい使いかた	24
こんなメッセージが表示されたら	26
故障かな?と思ったら	27
リセットについて	28
保証書とアフターサービス	29
仕様	30

はじめに

準備

CDを聞く

その他の機能と付録

メインユニットの取扱説明書にCDの操作説明が記載されている場合

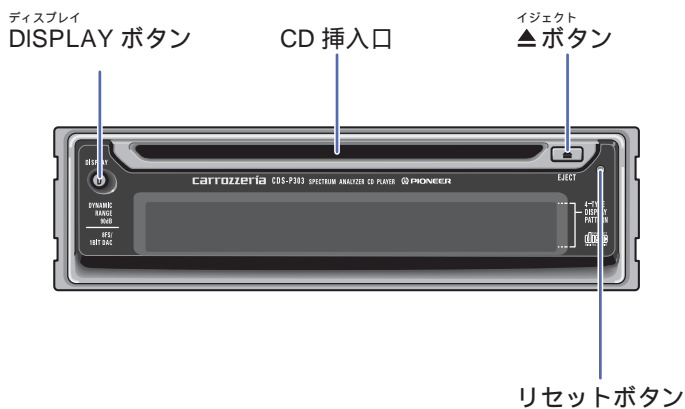
メインユニットの取扱説明書に1枚型CDの操作説明が記載されている場合は、そちらをご覧ください。

メモ

KEH-P303/KEH-P400/KEH-P300は、別売のメインコントローラー「CD-R66」が使用できます。「KEH-P600/MEH-P707/MEH-P800」には、メインコントローラーが付属しています。

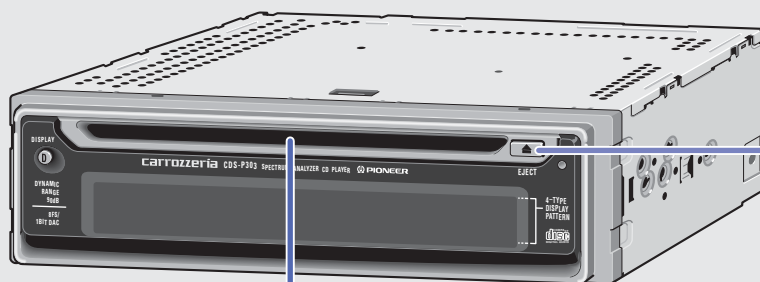
別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77/CD-SR70」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

本機の各部のなまえ

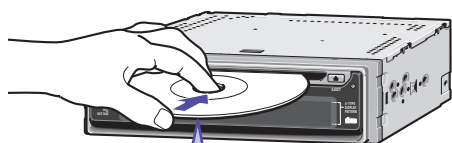


CD をセットする

まず最初に、本機にCDをセットしてください。



CDのタイトル面を上にして、
CD挿入口に差し込む



CDシングル(8cm CD)もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

自動的にCDがセットされ、再生を始めます。

本機のディスプレイ

本機のCDを聞いているときに点灯します。



本機にCDがセットされているときに点灯します。

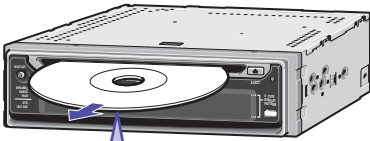
「KEH-P303」のディスプレイ



CDを取り出すときは

▲ ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。




出てきた CD はすぐに取り出し、保管してください。

CD のふだんの操作

曲を選ぶ

早送り/

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

チェック 最初に本機にCDをセットしてください。( 8ページ)

1 ソースを 1枚型CDにする

メインユニットで操作するとき

SO ボタンを押す

メインコントローラーで操作するとき

CD ボタンを押す

ボタンを押すごとにソースが切り換わります。1枚型CDになるまでボタンを繰り返し押してください。



CDの再生が始まります。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

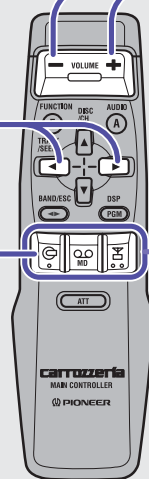
◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け


聞きたい曲の選択 押している時間が0.5秒以内

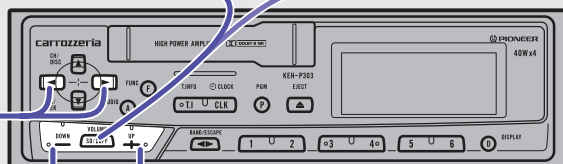
曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間



メイン
コントローラー
「CD-R66」

メモ

「KEH-P303」以外のメインユニットをお使いの場合は、「本機と組み合わせるメインユニットについて」( 6ページ) と、メインユニットの取扱説明書を参照して操作を行ってください。



メインユニット
例: 「KEH-P303」

3 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0~30の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

CD再生をやめるときは

メインユニットで操作するとき

SO ボタンを押す

他のソースに切り換えてください。

または、SO ボタンを1秒以上押す

電源がOFFになります。

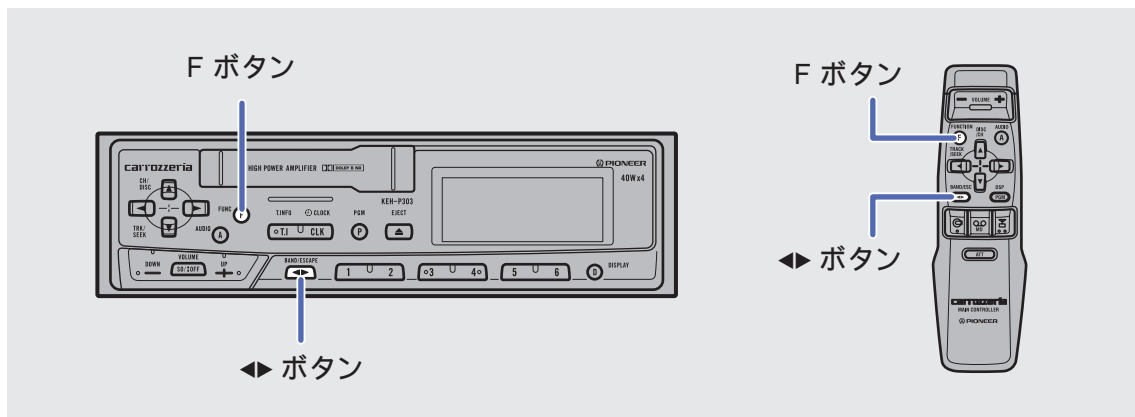
メインコントローラーで操作するとき

CD、テープ/MDまたはチューナー
ボタンを押す

他のソースに切り換えるか、電源をOFFに
してください。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。



ファンクションモードの切り換え

ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 次ページ)

ランダムモード (☞ 14ページ)

[スキャンモード] ¹ (☞ 16ページ)

ポーズモード (☞ 15ページ)

ファンクションモードを解除するには、◀ ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

メモ

¹「KEH-P300」など、スキャン再生機能 (☞ 16ページ) が付いていないメインユニットでは、スキャンモードには切り換わりません。

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

F ボタンを2秒以上押す



2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

[タイトル入力モード] ² (☞ 18ページ)

プログラマブルファンクション設定モード
(☞ 21ページ)

詳細設定モードを解除するには、◀ ボタンを押します。

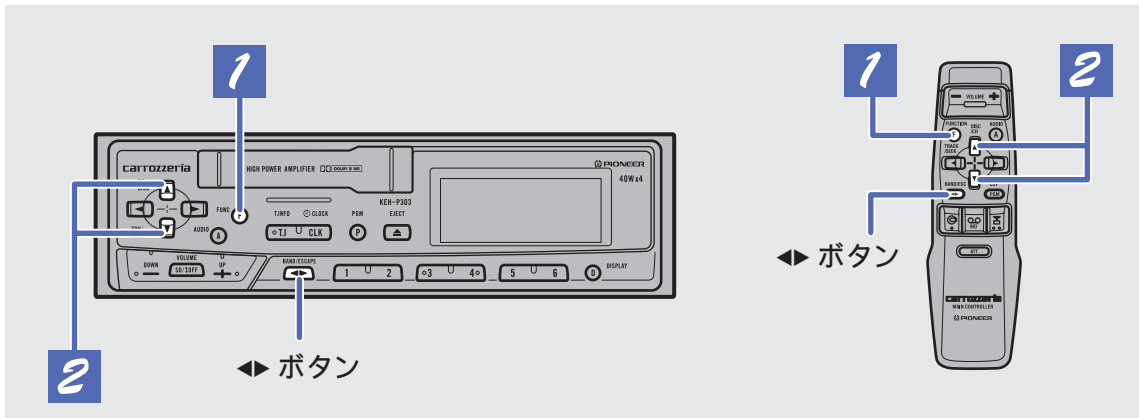
メモ

² 別売のマルチCD (「CDX-P630S」など) を接続していない場合、タイトル入力モードには切り換わりません。

同じ曲を繰り返し聞き

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞きすることができます。



1 リピートモードにする (前ページ)



2 リピート再生を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

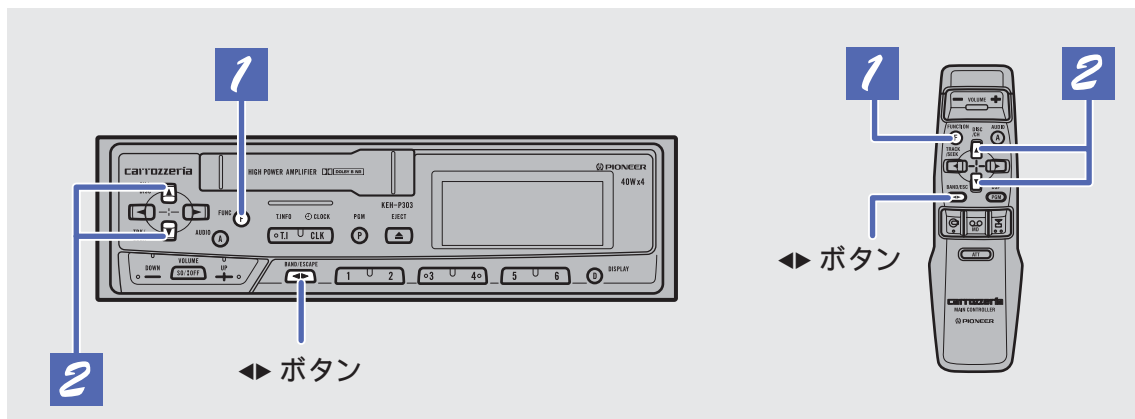


リピート再生中に表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲を本機にまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。



1 ランダムモードにする (▶▶▶ 12 ページ)



2 ランダム再生を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

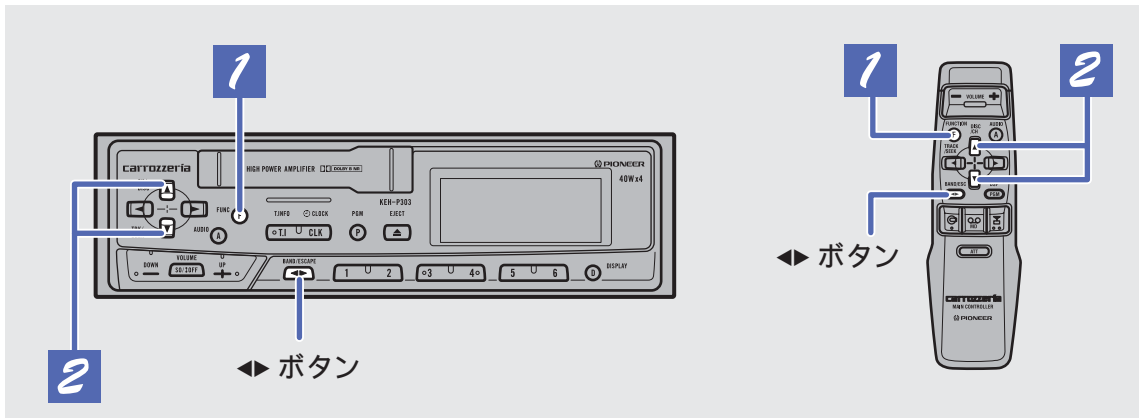


ランダム再生中に表示されます。

CD 再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。



1 ポーズモードにする (12 ページ)



2 CD再生を 一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ボタンで再生)



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



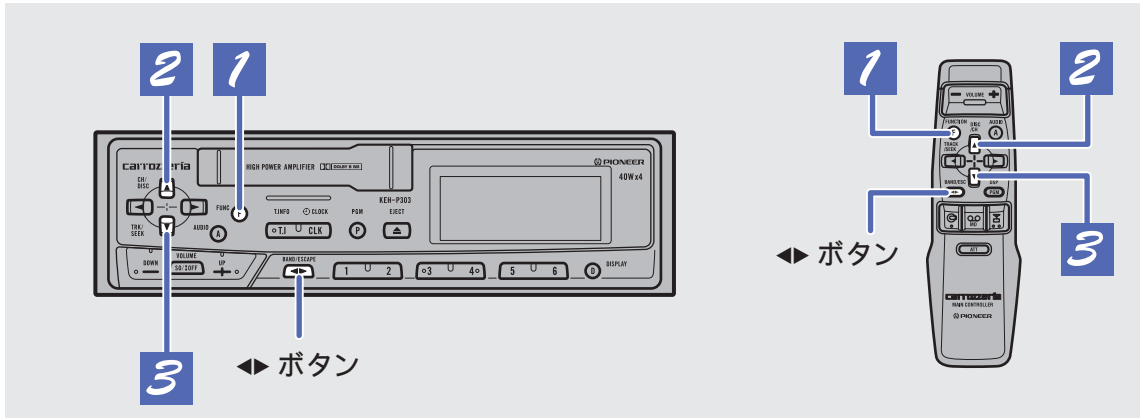
一時停止中に表示されます。

CDを聞く

聞きたい曲をさがす

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

チェック スキャン再生機能が付いたメインユニットのみの機能です。



1 スキャンモードにする (☞ 12 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

メモ

「KEH-P300」など、スキャン再生機能が付いていないメインユニットでは、スキャンモードには切り換わりません。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

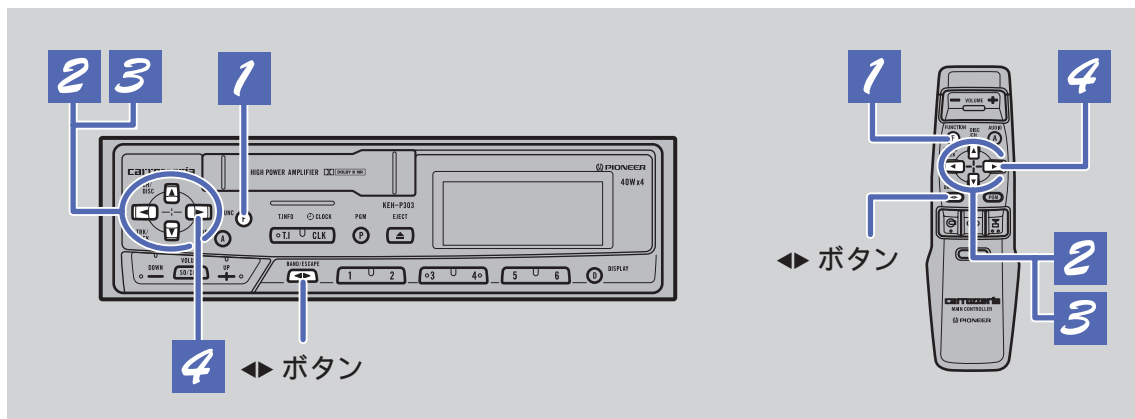
メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。

CDのタイトルを記憶させる

CDのタイトルを表示させる (☞ 20ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

チェック 別売のマルチCD (「CDX-P630S」など) を接続したときだけ使用できる機能です。



タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、メインユニットのディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは、別売のマルチCD (「CDX-P630S」など) を接続すると、入力できるようになります。

タイトルは10文字まで入力できます。(組み合わせるメインユニットによっては、8文字しか入力できない場合があります。)

本機のタイトルは、マルチCDのタイトルおよびマルチCDのITSとあわせて、CD100枚分の記憶ができます。(マルチCDのタイトルおよびITSについては ☞ メインユニットの説明書)

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDタイトルが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDを取り出しても消えません。そのCDをマルチCDにセットしたときも、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

タイトルを入力したいCDをセットする (☞ 8ページ)

1 タイトル入力モードにする (☞ 12ページ)



約2秒間表示されます。

メモ

既に再生中のCDのタイトルが記憶してある場合は、そのタイトルが表示されます。

2 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字は_ (空白)、A~Z (アルファベット)、* + ,
- . / (記号)、0~9 (数字) の中から選ぶことができます。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶：右に移動させるとき

◀：左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

3 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は空白を入力します。

4 入力したタイトルを 記憶させる

▶ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



約2秒後に、入力したタイトルが表示されます。



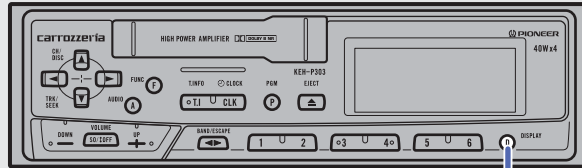
メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に、◀▶ボタンを押すと、タイトル入力モードを途中で解除できます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

CDのタイトルを表示させる

タイトル表示

タイトル記憶 (👉 18ページ) で記憶させたCDのタイトルを、表示させることができます。



D ボタン

表示を切り換える

D ボタンを押す

ボタンを押すごとにメインユニットのディスプレイが切り換わります。

タイトル表示



入力したタイトル

曲番号/再生経過時間表示



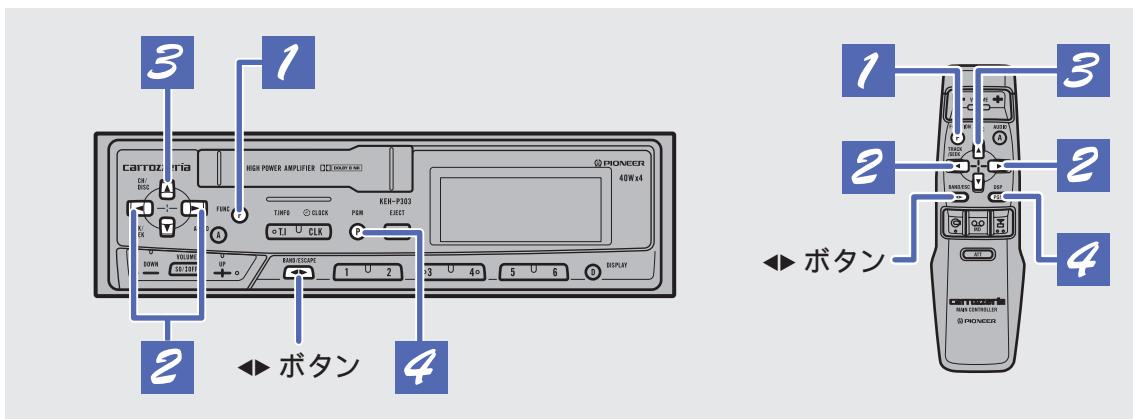
メモ

タイトルが入力されていないCDで、ディスプレイをタイトル表示に切り換えると、“NO TITLE” が約8秒間、点滅表示されます。

よく使う機能を学習させる

プログラマブルファンクション

よく使う機能をPGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、ファンクションモードに切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ポーズが学習されています。)



1 プログラマブルファンクション設定モードにする (☞ 12 ページ)



約 2 秒間表示されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)	REPEAT (リピート)
RANDOM (ランダム)	

3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、学習されたことを知らせます。

◀ ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

4 学習させた機能を操作する

PGM ボタンを押す

ボタンを押すごとに、記憶させた機能のON/OFFが切り換わります。

本機の表示を切り換える

本機の表示には、「ピークホールド」「ピークバウンド」「シンメトリー」「ワインディングロード」「スペアナスキャン」の5つの表示があります。それぞれの表示は、簡単に切り換えることができます。

DISPLAY ボタン



表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

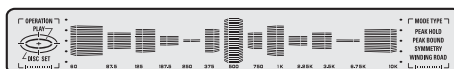
- ① ピークホールド表示
各周波数の音の強さを高さで表示します。



- ② ピークバウンド表示
各周波数の音の強さを高さであらわし、最高値を一時的に保持する表示をします。



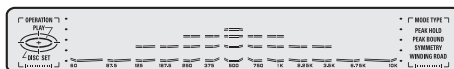
- ③ シンメトリー表示
各周波数の音の強さを幅で表示します。



- ⑤ スペアナスキャン
① ② ③ ④ の4種類の表示を約5秒間ずつ次々に表示します。



- ④ ワインディングロード表示
ワインディングロードを走行しているようなイメージの表示をします。125 Hzの音の強さにより、速さが変化します。



デモンストレーション表示について

本機の電源がON状態のとき、カセットテープの無音部分のように、スピーカの動かない状態が約20秒続くと、ディスプレイがデモンストレーション表示に切り換わります。

デモンストレーション表示



メモ

本機を操作したり、もう一度音楽などが始まると、デモンストレーション表示が解除され、前の表示に戻ります。

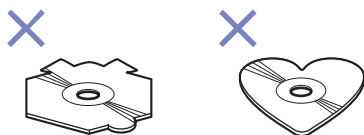
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

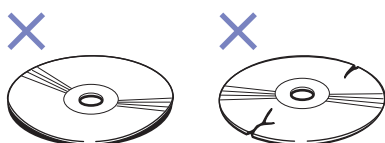
ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。



特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となる事があります。

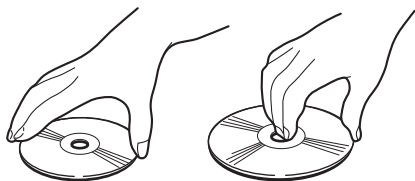


ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



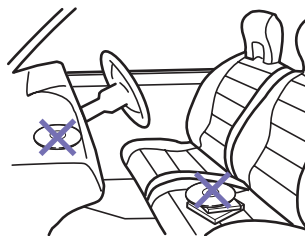
CDにキズを付けしないでください。

CDに紙やシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

CDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



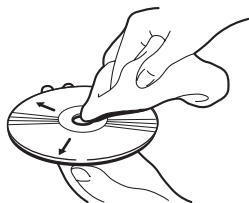
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内側から外側へ軽くふいてください。



CDに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、CDには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、CDのクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

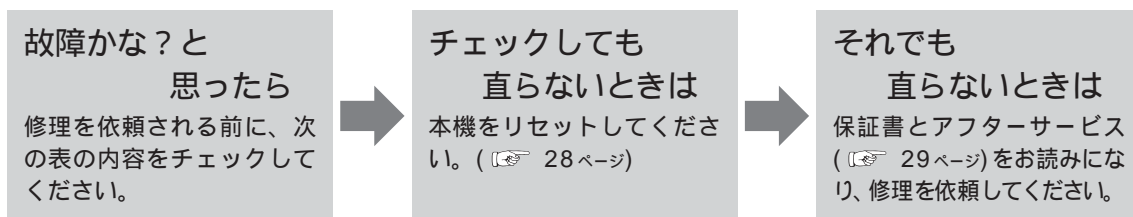
このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。CDに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

こんなメッセージが表示されたら

CD再生に異常が発生すると、メインユニットのディスプレイにエラー表示がでます。

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
ERROR 11、12、17、30	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
ERROR 14	録音していない追記型 CD (CD-R) を使用したとき。	追記型 CD (CD-R) を使用するときは、録音してからにしてください。
ERROR 10、11、12、14、17、30、A0	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめて、もう一度CD再生にしてください。
HEAT	本機の内部温度が高いとき。	温度が下がるまでお待ちください。

故障かな？と思ったら



共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書)
音が出ない、音が小さい	メインユニットの音量を下げている。	メインユニットの音量を上げてください。

CD

症 状	原 因	処 置
大きな雑音が出る。 再生がストップしてしまう。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。 良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。
	CDにくもりや水滴が付いている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。
	CDの裏表を逆にしてしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

リセットについて

リセットボタンについて

リセットボタンは、本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

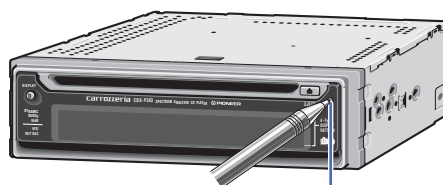
接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（I・C）をご利用ください。所在地、電話番号はメインユニットに付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

仕様

CD プレーヤー部

形式	: コンパクトディスク オーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (1 kHz)
S/N	: 92 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック レンジ	: 90 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

共通部

最大消費電流	: 1.1 A
使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
外形寸法	
	(取付寸法): 178 (W) × 50 (H) × 150 (D) mm
	(ノーズ寸法): 170 (W) × 46 (H) × 11 (D) mm
質量	: 1.3 kg

付属品

取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なることがあります。



その他の機能と付録



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98A00F0A01 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2496-A >

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076